

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト
- ②4月1日付教職員人事異動／生涯学習講演会
- ③英会話教室／軽舞事務所春の特別開放
- ④受賞者紹介／屋外スポーツ施設利用／教育委員会／戦争遺跡見学会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト「あつひやく」 第3回「ワクワクする学び場」のキャッチコピー大作戦！



令和5年度全3回シリーズが終了。ありがとうございました！

3月26日（火）に、これからの厚真町の教育の未来を考える「あつひやくミーティング」を総合福祉センターで開催しました。3回目となる今回は、第2回「学び場」具体化ミーティングの中で出された「こんな取り組みができればおもしろい！」という企画案の中から、実現に向けて動いていけるような企画を選び、どうすれば実現できるだろうかという視点で、アイデア出しを行いました。

今回選ばれた企画は、厚真町内をキャンプしながら歩く「旅人キャンプ」と、田んぼを活用した「泥だらけの大運動会」の二つです。最終的には、参加者のアイデアを1枚の企画ポスターにまとめて、「この企画が実現したときのイメージ」を参加者全員で共有する時間となりました。

令和4年度からこの取組を始めて、これまで計6回、延べ132人の方々に参加していただきました。少しでも多くの地域の方々の「子どもたちへの思いや願い」を反映しながら、今後も様々な教育事業を展開できることを目指していきます。

知っていますか？あつひやくマーク！

教育委員会では、令和5年11月より、事業案内に右記のような「あつひやくマーク」を採用しております。このマークは、あつひやくミーティングで出された「厚真で育つ子どもに育んでほしい10個の力」から、各事業に関わりのある能力を標記しています。ぜひ、ポスターなどをご覧の際は、ご確認ください。



4月1日付 教職員人事異動

◀ 転出・退職

(敬称略)

厚真中央小学校校長	河毛 幸 至	(苫小牧市立錦岡小学校)
厚真中学校校長	北尾 稔	(登別市立青葉小学校)
上厚真小学校教頭	岩崎 誠 之	(苫小牧市立樽前小学校)
厚南中学校教頭	桔梗原 憲	(厚真町教育委員会)
厚真中央小学校教諭	福本 真理子	(安平町立追分小学校)
厚真中央小学校教諭	近藤 朗 子	(安平町立追分小学校)
厚真中央小学校教諭	大谷 俊 之	(苫小牧市立沼ノ端小学校)
厚真中央小学校教諭	佐藤 祐美子	(苫小牧市立植苗小中学校)
上厚真小学校教諭	開米 凧 紗	(苫小牧市立緑小学校)
上厚真小学校教諭	長門 優 美	(共和町立西陵小学校)
厚真中学校教諭	真下 裕 之	(苫小牧市立開成中学校)
厚真中学校教諭	青山 裕	(苫小牧市立啓明中学校)
厚真中学校教諭	蝦名 ひとみ	(苫小牧市立明倫中学校)
厚南中学校教諭	太田 明	(苫小牧市立啓明中学校)
厚南中学校教諭	藤原 国彦	(むかわ町立穂別中学校)
厚南中学校教諭	山本 有 紗	(苫小牧市立明倫中学校)
厚真中学校事務職員	坂 達 彦	(退職)

▶ 転入・昇任

厚真中央小学校校長	森 晶 子	(室蘭市立地球岬小学校)
厚真中学校校長	渡辺 知 峰	(安平町立追分中学校)
上厚真小学校教頭	藤本 拓	(苫小牧市立緑小学校)
厚南中学校教頭	作田 和彦	(厚真町教育委員会)
厚真中央小学校教諭	佐藤 寛 太	(伊達市立伊達小学校)
厚真中央小学校教諭	泉澤 秀 樹	(むかわ町立穂別小学校)
厚真中央小学校教諭	菅崎 京 子	(むかわ町立穂別小学校)
上厚真小学校教諭	鈴木 里 佳	(白老町立虎杖小学校)
厚真中学校教諭	菅原 正 樹	(苫小牧市立開成中学校)
厚真中学校教諭	大垣 加那絵	(苫小牧市立和光中学校)
厚真中学校教諭	歸山 雄 太	(新採用)
厚南中学校教諭	佐藤 康 人	(室蘭市立楼蘭中学校)
厚真中学校事務職員	佐々木 伯 承	(白老町立竹浦小学校)

生涯学習講演会 — 歌手の佐藤広大さんが人生を語る —

教育委員会では、3月9日(土)総合ケアセンターゆくりで生涯学習講演会を開催しました。講師に、歌手でラジオMCとしても活躍している佐藤広大さんを招き、「夢は天国からのギフト」と題して、これまでの困難や歌手になるまでの道のりに関する講演をしていただき、町内外から約30人が参加しました。

講演の最後に佐藤さんから、「感謝する気持ちを忘れないでほしい」というメッセージがあり、夢を持つことや感謝する気持ちの大切さに改めて気づく機会となりました。



講演会の様子

令和6年度も英会話教室始まりますよー！

ぜひ皆さん、
一緒に英語を
学びませんか？

～大切なのは自分の思いを相手に伝えること～

教育委員会では、毎年、英会話教室を開講しています。今年度の講師は、昨年度同様、厚真町のALT（外国語指導助手）のメリッサ先生（アメリカ出身）です。

初心者クラスと上級者クラスに分かれて、英語を使ったゲームやクイズなどを行いながら、あいさつや自己紹介等、日常的に使える英語や日ごろの出来事について参加者同士で会話をしながら、楽しく英語を学べます。料理教室などのイベントも開催予定ですので、英語に興味がある方、外国の文化に興味がある方、新しいチャレンジをしてみたい方、ぜひご参加ください！



昨年度の様子

【令和6年度英会話教室】

- 日時 5月15日～7月17日までの毎週水曜日（第1期）全10回
17時30分～初心者クラス、18時15分～上級者クラス
※今年度より、それぞれ45分のクラスに変更しています。
※希望する場合は、両方のクラスに参加できます。
- 場所 青少年センター2階 研修室
- 対象 どなたでも（※幼児、小学生は保護者同伴）
- 参加費 無料
- 申し込み 社会教育グループまで電話申し込み（27-2495）



メリッサ・マクシー・チョウ
アメリカ出身

軽舞遺跡調査整理事務所

見て ・ 触れて ・ 体験！

春の特別開放事業 5月6日（月・祝）開催

軽舞遺跡調査整理事務所では、縄文土器・石器などの遺跡関係や町民の皆さんから寄贈していただいた郷土資料を1万点以上、保管展示しています。

通常は平日のみ開館し一般公開していますが、下記の日程で特別開放を行います。みんなで見て・触れて・聞いて・動かしてのハンズオン展示や特別企画として「厚真懐かしのスライド上映会」を開催します。

このほか、令和4年11月に町指定文化財となり、“厚真町の宝物”として全国から注目されている約1000年～400年前のアイヌ文化の遺跡発掘出土品も公開しますので、ぜひお越しください。

特別企画 厚真懐かしのスライド上映会

◆開催日時

令和6年5月6日（月・祝）
9時00分～17時00分

◆スライド上映会

10時00分～16時00分
1回30分程度
繰り返し上映になります

◆見学無料

◆申込不要

◆問合せ

軽舞遺跡調査整理事務所
☎28-2733

昨年度のスライド上映会とは別に、今回は約200枚の懐かしい厚真を上映します。

昭和・平成の建物や駅伝大会、お祭りでの相撲大会など、さまざまな行事をみんなで楽しみながらご覧ください！



いけばなの全国大会「第26回学校華道インターネット花展」 京都府教育委員会教育長賞 受賞

華道同好会に所属している三上菜月さんが、第26回学校華道インターネット花展で、京都府教育委員会教育長賞を受賞しました。

今大会は、三上さんが通っていた高校の部活動としての参加で、花材の一つであるガーベラは実際に高校で育てた花を使ったことから、思い入れのある花だったそうです。作品について、三上さんは「枝や花の色合いを特に意識して、テーマの「秋めく」を感じられるようにしました。」と、作品に込めた思いを語ってくれました。



屋外スポーツ施設の 利用について



●かしわ公園野球場

利用期間 5月1日(水)～10月31日(木)
利用時間 平日・土曜日 8時45分～21時00分
日曜日・祝日 8時45分～17時00分

【問合せ】スポーツセンター ☎27-3775

●上厚真・新町・本郷パークゴルフ場

利用期間 4月15日(月)～11月15日(金)
利用時間 日の出～日没

※本郷パークゴルフ場は、芝生養生のためオープンが遅れていましたが、5月1日(水)からオープンします。



●浜厚真野原公園サッカー場

利用期間 4月1日(月)～11月30日(土)
利用時間 8時00分～17時00分

3月定例教育委員会

◆報告事項◆

3月校長会議・教頭会議について／第2回厚真町いじめ問題対策連絡協議会について／令和5年度厚真町標準学力調査の結果・厚真町の児童生徒の概況について／厚真未来カレッジ特別講演／厚真町社会教育委員の会議について／放課後子ども教室特別教室及び活動報告会／厚真町アイヌ施策推進地域計画(R6～10年)の認定について(ほか2件)

◆議案◆

厚真町教育委員会事務局組織規則の一部改正について／外国青年英語指導助手任用規則の一部改正について／厚真町フッ化物洗口事業実施要綱の一部改正について／厚真町民に対する体育振興及び文化振興行事参加費用助成金交付基準の廃止について／厚真町民に対する体育振興及び文化振興行事参加費用助成金交付要綱の制定について／教育委員会事務局職員の人事について

◆その他◆

寄附の申出について／転入教職員辞令交付伝達式・歓迎式

★問合せ★

学校教育グループ ☎27-2494

戦争遺跡見学会のお知らせ

厚真・苫小牧地域のトーチカやざん壕など、今から約80年前につくられた戦争遺跡を巡ります。

平和な時代だからこそ、身近にある戦争の歴史を見つめなおしてみませんか。

【詳細について】

- 日時 5月26日(日)
9時00分～15時00分ころ
- 集合場所 青少年センター・厚南会館
- 見学先 厚和地区トーチカ・豊丘地区兵舎跡・苫東地区綱木トーチカなど
- 詳細 ポスター、役場HPをご覧ください。
- 申込・問合せ 軽舞事務所 ☎28-2733

図書室だより

4月23日～
5月12日

こどもの読書週間 です

今年度の標語

ひらいてワクワク めくってドキドキ

4月23日が「子ども読書の日」となったこともあり、この日から3週間、全国の図書館や本屋さんが本を楽しく読んでもらおうとイベントやキャンペーンを行っています。

厚真町でもこどもの読書週間に合わせて、本を読むことが楽しくなるようなイベントを行いますので、ぜひ青少年センターにお越しください。

最後はどうなった？ 昔ばなし探偵

登場人物の名前は知っているのに、あらすじがわからない、最後どうなったかを覚えていない、そんなことはありませんか？

昔話のストーリーをたどりながらクイズに答えて、詳しくなりましょう。

場所：青少年センター図書室 1階入口付近

期間：4月20日(土)～5月12日(日)

デビュー作が受賞！

2024年本屋大賞
成瀬は天下を取りに行く

宮島 未奈 / 著

青少年センター前道路への駐車は
やめましょう

青少年センター前の道路は、ゆくりや福祉センターへの通り道となっており、長時間の駐車は交通の妨げとなります。図書室をご利用の際は、付近の駐車場をご利用ください。

5月の休館日

3日(金) 憲法記念日

4日(土) みどりの日

5日(日) こどもの日

※ 5月6日(月)は開館します

■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は

休館となります。

5月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、

23日(木) 10時00分から10時30分まで

場所：厚南子育て支援センター

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

鳴き声に、ふと顔を上げると、空を行く渡り鳥の姿がありました。群れを成し、まだ冷たさの残る春の風の中、次の目的地へ旅を始める季節は、人にとってもまた新たなスタートを迎える時期に重なります。新年度、新学期を迎え、気持ちも新たに子どもたちと向き合っていきたいと思います。

約2週間の春休みを終えて、学校の始業とともに、令和6年度の放課後子ども教室の活動が始まりました。それぞれに1学年ずつ進級した子どもたちは、まだ新しい学年に慣れないせいか、ソワソワと、しかし、嬉しそうな様子を見せています。子ども教室は、上厚真小、中央小の各小学校で活動をおこない、1～3年生までの低学年グループと、4～6年生の高学年グループに活動日を分けて実施しています。新4年生はこれまでの低学年グループから、高学年グループへと活動日がお引越しくなります。高学年の活動日になった初日、いつものように元気いっぱいに来てくれるかと思いきや、緊張の面持ちでそっと帰ってきた4年生の子どもたち。学校生活や放課後児童クラブ（学童保育）において、5～6年生とも一緒に活動をしているはずですが、まるで知らない人に囲まれているような、不安な気持ちが表情に出ていました。1年間、ともに活動する仲間として4年生を迎え入れ、5～6年生ともコミュニケーションがとれるよう、4月のスタートは学年を混ぜて遊ぶレクリエーションをプログラムの中に取り入れています。今年度はジェスチャーゲームや、チームで協力して、法則を見つけ出し、順番を並び替えるカードゲームなどをおこないました。チームを決める際には、5～6年生が4年生の子を誘って、仲間に入れてくれたり、自由時間に声をかけて一緒にドッチボールやサッカーをしたり、相手に関わろうとする自然な優しさが見えました。これから、ケンカをしたり、意見がぶつかったりすることもあると思いますが、学年を超えた友だちとして、相手の気持ちはもちろん、自分の気持ちも大切にしながら、ともに成長してくれることを願っています。

去る3月16日(土)、放課後特別教室と令和5年度の放課後子ども教室活動報告会を、総合ケアセンターゆくりで実施しました。報告会には、子どもたちや保護者の方々、地域の皆さんなど30名のご参加をいただき、子どもたちが作ったお昼ご飯を食べながら、1年の活動をともにふり返りました。放課後子ども教室のコンセプトである『自分が育ったまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる人材を育てる』という目標は、これまでに送り出してきた卒業生から、少しずつその実感を得ているところであります。今後、より一層、子どもたちが自分のふるさと・厚真を身近に感じ、自分が暮らすまちに関心を持ってもらうためには、地域資源を自分たちが楽しむだけでなく、その一歩先に、自分たちの行動が地域の人に喜ばれる環境を築いていくことが必要だと思えます。今年度、子ども教室として福祉や地域コミュニティと連携を図りながら、新たなチャレンジに取り組んでいきたいと考えています。

